

2018年4月8日(日)晴

北摂「大岩岳」

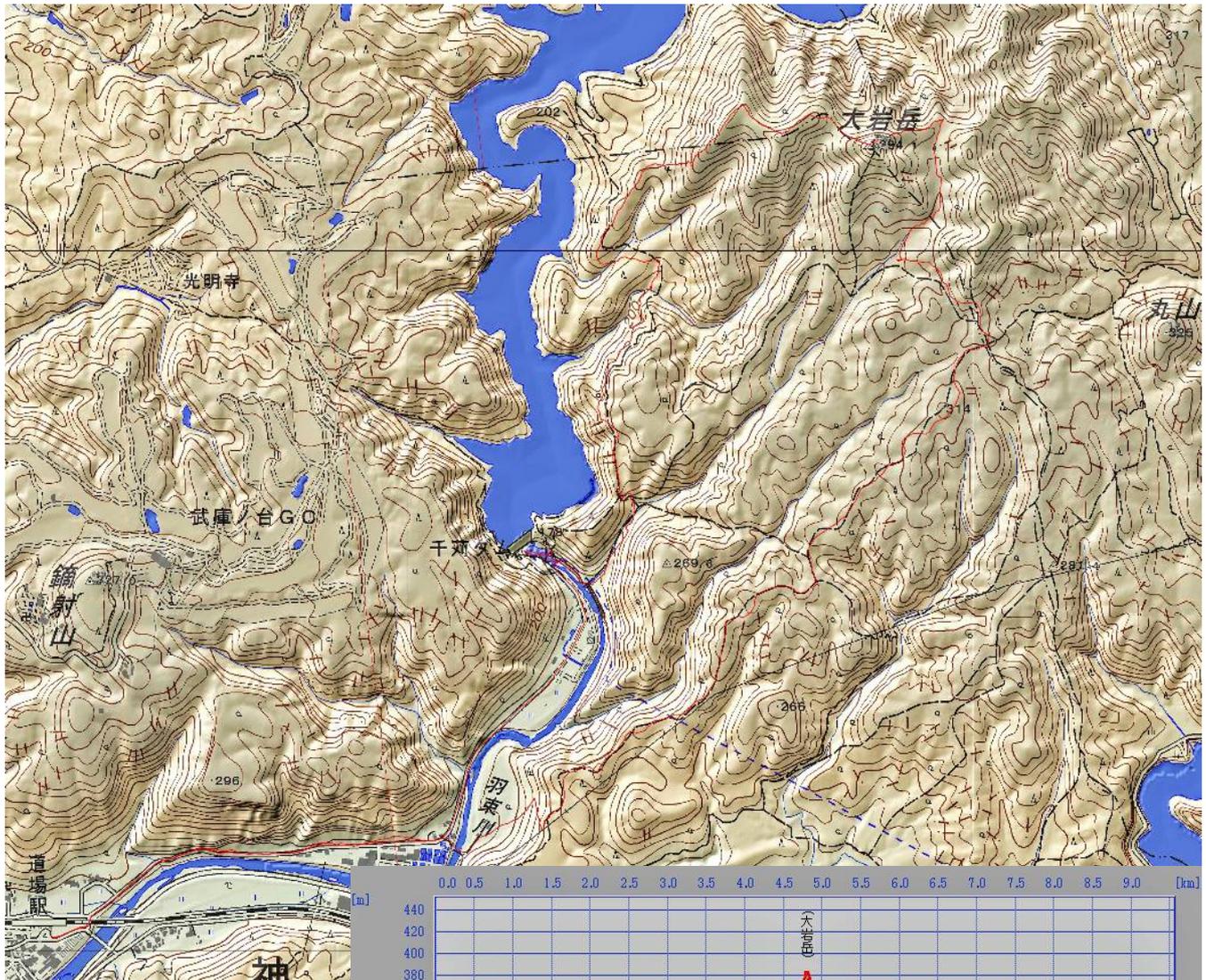
単独行

標高：大岩岳 394.1m

コース距離： 9.7km、 所要時間： 3時間37分(休憩含む)

コースタイム： 道場駅(8:46)→(9:16)千苺ダム→(9:22)登山口→(9:32)分岐→(10:01)登り口→(10:38)大岩岳(10:55)→(11:24)丸山分岐→(12:08)東山橋→(12:23)道場駅

*山行軌跡



*行程グラフ



山行記： JR島本から乗車し尼崎で宝塚線に乗換えて道場で下車する。

駅前を左に踏切を渡り武庫川に沿って進んで行く、道路には桜祭りの旗が建てられているが桜は終わっている、車道終点の駐車場から一人の登山者が川筋を歩かれて行くのが見えた。

武庫川に注ぐダム放流の川筋を登って行くと千苺貯水池の石積みのダムが出てくる、ダムに放流がされていて大迫力がある。

ダムの放流を鑑賞してダム手前の橋を渡りコンクリート壁の上を少し下流に下がり壁の最後の所で左に入ると急登の段差が有る山道が登山口である、先に見た登山者が登りだされたところを続いて登りだすがバランスの摂り難い道である。

すぐに先行者を追い抜き小谷を渡り進んで行くと分岐があり西周りを選択しダム湖に沿って歩いて行くと又分岐に出る、此の分岐は速足で前を急いでいると見落としやすいが此処が大岩岳の登り口である。

暫く進むとまた急登が始まる、此処の登山道の脇に三つ葉ツツジが多く咲いている、ツツジの隙間から藪山の大岩岳を見ながら進むと大きく下り最後の急登を登って行き10時38分大岩岳に到着する。

抜かしてきた登山者が先に着かれていた、分岐を右に直登コースを登られたのだろう、山頂は風が強く今日は気温の低いのでダウンを着こみ水分補給とクラッカーを口にする。

山頂には二等三角点が設置されて北西から北方向が見渡せる、寒くて山頂には居られないので先を進むことにする。

標識の有る所で丸山湿原から千苺ダム方面進む谷間を歩くが湿原の雰囲気はない、丸山への分岐を東山橋を目指して進んで行く砂山314mは灌木の中で眺望は出来ない。

送電線鉄塔に出てくると少しづつ眺望が出来る様になって進んで行くと朝通って来た道が見える様になり平坦道から下り道に入り東山橋を渡り来た道に出て道場駅まで歩き通す。

駅に着くとすぐに列車が入ってきて向かいのホームに急いで渡り何とか列車に乗る事が出来て帰途に着く。



道場駅



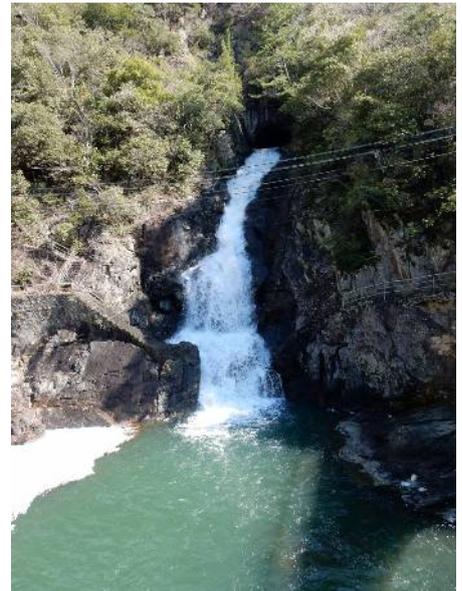
千苺ダムへの
道端で出会った花





千苺ダム

横の排水路が
滝のように



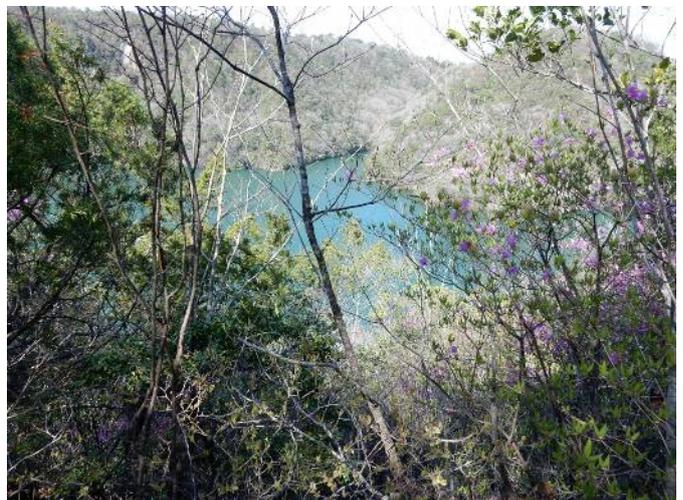
千苺ダムの橋の上より



水路の対岸より



登山道の三つ葉ツツジ



貯水湖を見る



貯水湖を見る



大岩岳を見る



大岩岳の二等三角点



大岩岳より正面が大船山、左は羽束山



大岩岳からのパノラマ



判りやすい標識は此処だけ



分岐



東山橋へ



最初に出会った送電線鉄塔



通って来た道を覗く